

腐植酸苦土肥料 くみあい「アヅミン」[®]

「アヅミン」は、腐植酸を40～50%、く溶性苦土を3.0%以上含むことから、腐植酸苦土肥料に分類される苦土肥料です（表1）。腐植酸を40～50%含むので10 a当たり30～40 kg施用すれば、堆肥1 t分の腐植酸を補給できます。肥効を高める目的で、指定配合肥料や複合肥料などの腐植酸の供給源として配合されることもあります。

表1 「アヅミン」の成分

登録名称	保証成分(%)		含有成分(%)
	く溶性苦土	内水溶性苦土	腐植酸
3.0腐植酸苦土肥料	3	1	40～50
10.0腐植酸苦土肥料3号	10	2	40以上

10.0腐植酸苦土肥料3号は一部地域での限定販売となります。

製造工程

炭化度の低い亜炭を硝酸で腐植酸に酸化分解し、それに軽焼マグネシウムなどの苦土源を加えて中和反応をさせ、造粒、乾燥して製造しています（図1）。

腐植酸とは

腐植酸は、アルカリに溶け酸に溶けない有機物のことを指します。腐植酸を含む資材は数多くありますが、原料や処理方法によって化学構造が異なるため、水への溶解性や根の伸長、生理活性が異なると考えられています。「アヅミン」の腐植酸は、水への溶解性が高いことが大きな特徴です。

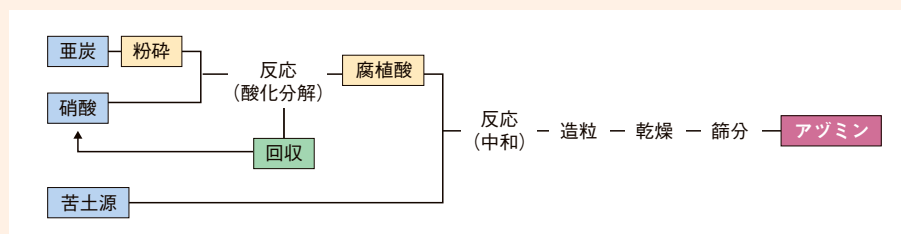


図1 「アヅミン」の製造工程

効果

「アヅミン」は、腐植酸を多量に含むことから、次のような効果が期待されます。

地力を高める

腐植酸の補給、CECの増大（保肥力の向上）、pH緩衝能、土壌の物理性（通気性、保水性）を向上させます。

肥料効果を高める

保肥力が大きいので、肥料成分を保持する能力が高まり、流亡が軽減されます。

また、キレート効果により、リン酸の固定を防いだり、果樹などの園地で石灰や苦土の土壌への浸透を助けたりします。

根の活性を高める

水に溶けやすい腐植酸が多いことから、根系が発達（根の伸長、細根量の増加）し、根の活性化によって養分吸収が促されます。

不良環境でも生産の安定性を高める

塩類集積土壌、乾燥や低温の環境下で、より効果を発揮し、作物が安定生産できます。



施用方法

水稻

代かき前までに10 a当たり30～40kgを基肥とともに施用します。稲わらや堆肥と併用するとより効果が高まります。

野菜、果樹、茶園

化成肥料や配合肥料の施用時に10 a当たり40～80kgを施用します。全面全層施用でも結構ですが、植え溝や畦などの根圏に局所施用すると、いっそう効果が高まります。

育苗

育苗床土に「アヅミン」を1%程度混合することで、健苗育成に効果的です。また、移植後の発根、活着が早まり、初期生育が促進されます。



「アヅミン」の
製品紹介ページ

●問い合わせ先

デンカ㈱エラストマー・
インフラソリューション部門
環境・アグリプロダクツ部
TEL.03-5290-5555